

香川労働局発表

令和5年8月28日

担	香川労働局労働基準部 健康安全課 健康安全課長 角井 尚規 地方労働衛生専門官 池田 真也
当	【電話】 087-811-8920 【夜間】 087-811-8926 (呼) HP : https://jsite.mhlw.go.jp/kagawa-roudoukyoku/

令和5年度（第74回） 「全国労働衛生週間」を10月に実施

スローガン「目指そうよ二刀流 ころろとからだの健康職場」

香川労働局（局長 栗尾 保和）では、10月1日から10月7日までを本週間、9月1日から9月30日までを準備期間とし、「目指そうよ二刀流 ころろとからだの健康職場」をスローガンとして、全国労働衛生週間を展開します。

全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など「労働衛生」に関する国民の意識を高め、職場の自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的として、毎年実施しており、今年で74回目になります。

全国労働衛生週間準備期間に合わせて、9月を「職場の健康診断実施強化月間」と位置づけ、法定の健康診断の実施及び事後措置をはじめとする労働者の健康確保対策について徹底を図ることとしています。

香川労働局においては、香川労働局ホームページに「令和5年度全国労働衛生週間推進コーナー」を設けるとともに、管内各労働基準監督署においては、全国労働衛生週間説明会を開催し、各事業場における自主的な健康管理等の実施を呼びかけてまいります。また、全国労働衛生週間のイベントとして、10月5日に独立行政法人労働者健康安全機構香川産業保健総合支援センター、一般社団法人香川労働基準協会、公益社団法人全国労働基準関係団体連合会香川県支部との共催で「香川健康づくり推進セミナー」を実施します。

【全国労働衛生週間】

期 間 10月1日から10月7日

(準備期間 9月1日から9月30日)

- 添付資料 No.1 令和5年度全国労働衛生週間実施要綱
No.2 香川県内の労働者の健康を巡る状況
No.3 「第74回全国労働衛生週間」リーフレット
No.4 令和5年度全国労働衛生週間説明会 開催日程表
No.5 令和5年度香川健康づくり推進セミナーのご案内（リーフレット）
No.6 定期監督等における労働衛生関係法令の違反状況（令和4年）

令和5年度全国労働衛生週間実施要綱

1 趣旨

全国労働衛生週間は、昭和25年の第1回実施以来、今年で第74回を迎える。この間、全国労働衛生週間は、国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保に大きな役割を果たしてきたところである。

労働者の健康をめぐる状況については、高齢化の進行により、一般健康診断の有所見率が上昇を続けているほか、何らかの疾病を抱えながら働いている労働者が増加するとともに、女性の就業率が上昇し、働く女性の健康問題への対応も課題となっている。また、中高年齢の女性を中心に、転倒などの労働者の作業行動に起因する労働災害が高い発生率となっている。人生100年時代に向けて高年齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりを推進していくためにも、高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）に基づく対策の推進とともに、労働者の健康管理や治療と仕事の両立への支援をさらに推進していく必要がある。

また、過労死等事案の労災認定件数は、令和4年度には904件となっており、引き続き過労死等を防止するためには、働き方改革の推進と相まって、長時間労働による健康障害の防止対策の推進が必要である。このうち、特に精神障害による労災認定件数は令和4年度には710件と過去最多となっており、メンタルヘルス対策をさらに強化していく必要がある。

さらに、労働者の健康確保において、産業医の選任義務のない小規模事業場における体制確保や取組の推進が大きな課題となっている。これらの事業場は全体の96%を占めており、小規模事業場における健康確保対策の推進が重要である。

化学物質による休業4日以上労働災害は、450件程度で推移し、特定化学物質障害予防規則等の特別規則の規制の対象となっていない物質を起因とするものが全体の8割を占めている。また、化学物質等による重大な遅発性の職業性疾病も後を絶たない。このため、厚生労働省では、従来、特別規則の対象となっていない全ての危険・有害な物質への対策を強化するため、事業者が自ら行ったリスクアセスメントの結果に基づき、ばく露防止のために講ずべき措置を適切に実施する制度を導入した。この仕組みを実効あるものとするため、ばく露の上限となる濃度基準値の設定、危険性・有害性に関する情報伝達の仕組みの整備・拡充を行うため、所要の法令改正を順次、行っているところである。

また、職業がんの労災補償の新規支給決定者は、石綿による中皮腫・肺がんを中心に年間約1,000人にも及ぶところ、石綿の製造・使用等が禁止される前に石綿含有建材を用いて建設された建築物が今なお多数現存している。その解体工事が2030年頃をピークとして、増加が見込まれる中、解体・改修前に義務付けられている石綿の有無に関する事前調査や石綿の発散防止措置が適切に講じられていない事例が散見されたことを踏まえ、一

定の建築物や工作物などの解体・改修工事については、資格者による事前調査や、石綿事前調査結果報告システムを用いた報告の義務化など、石綿によるばく露防止対策の強化を進めている。

このような状況を踏まえ、第14次労働災害防止計画（以下、「14次防」という。）において、令和5年度より「自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発」や「労働者（中高年齢の女性を中心に）の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進」、「労働者の健康確保対策の推進」、「化学物質等による健康障害防止対策の推進」等合計8つの重点を定め、労働災害防止対策を進めている。

さらに、建設アスベスト訴訟の最高裁判決（令和3年5月17日）を踏まえ、有害物質による健康障害の防止措置を義務づける労働安全衛生法第22条の規定に関連する労働安全衛生規則等11の省令の規定について、請負人や同じ場所で作業を行う労働者以外に対しても、労働者と同等の保護措置を講ずることを事業者にも義務づける改正が実施され、令和5年4月に施行されており、事業者にも求められる労働衛生対策の実施対象の幅は広がっている。

このような背景を踏まえ、今年度は、「目指そうよ二刀流 ころとからだの健康職場」をスローガンとして全国労働衛生週間を展開し、事業場における労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の一層の促進を図ることとする。

2 スローガン

目指そうよ二刀流 ころとからだの健康職場

3 期間

10月1日から10月7日までとする。

なお、全国労働衛生週間の実効を上げるため、9月1日から9月30日までを準備期間とする。

4 主唱者

厚生労働省、中央労働災害防止協会

5 協賛者

建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会

6 協力者

関係行政機関、地方公共団体、安全衛生関係団体、労働団体及び事業者団体

7 実施者

各事業場

8 主唱者、協賛者の実施事項

以下の取組を実施する。

- (1) 労働衛生広報資料等の作成、配布を行う。
- (2) 雑誌等を通じて広報を行う。
- (3) 労働衛生講習会、事業者間で意見交換・好事例の情報交換を行うワークショップ等を開催する。
- (4) 事業場の実施事項について指導援助する。
- (5) その他「全国労働衛生週間」にふさわしい行事等を行う。

9 協力者への依頼

主唱者は、上記8の事項を実施するため、協力者に対し、支援、協力を依頼する。

10 実施者の実施事項

労働衛生水準のより一層の向上及び労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の定着を目指して、各事業場においては、事業者及び労働者が連携・協力しつつ、次の事項を実施する。

- (1) 全国労働衛生週間中に実施する事項
 - ア 事業者又は総括安全衛生管理者による職場巡視
 - イ 労働衛生旗の掲揚及びスローガン等の掲示
 - ウ 労働衛生に関する優良職場、功績者等の表彰
 - エ 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症等による事故等緊急時の災害を想定した実地訓練等の実施
 - オ 労働衛生に関する講習会・見学会等の開催、作文・写真・標語等の掲示、その他労働衛生の意識高揚のための行事等の実施
- (2) 準備期間中に実施する事項

下記の事項について、日常の労働衛生活動の総点検を行う。

 - ア 重点事項
 - (ア) 過重労働による健康障害防止のための総合対策に関する事項
 - a 時間外・休日労働の削減、年次有給休暇の取得促進及び勤務間インターバル制度の導入など労働時間等の設定の改善による仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 - b 事業者による仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進や過重労働

働対策を積極的に推進する旨の表明

- c 労働安全衛生法に基づく労働時間の状況の把握や長時間労働者に対する医師の面接指導等の実施の徹底
- d 健康診断の適切な実施、異常所見者の業務内容に関する医師への適切な情報提供、医師からの意見聴取及び事後措置の徹底
- e 小規模事業場における産業保健総合支援センターの地域窓口の活用

(イ)「労働者の心の健康の保持増進のための指針」等に基づくメンタルヘルス対策の推進に関する事項

- a 事業者によるメンタルヘルスカを積極的に推進する旨の表明
- b 衛生委員会等における調査審議を踏まえた「心の健康づくり計画」の策定、実施状況の評価及び改善
- c 4つのメンタルヘルスカ（セルフケア、ラインによるケア、事業場内産業保健スタッフ等によるケア、事業場外資源によるケア）の推進に関する教育研修・情報提供
- d 労働者が産業医や産業保健スタッフに直接相談できる仕組みなど、労働者が安心して健康相談を受けられる環境整備
- e ストレスチェック制度の適切な実施、ストレスチェック結果の集団分析及びこれを活用した職場環境改善の取組
- f 職場環境等の評価と改善等を通じたメンタルヘルス不調の予防から早期発見・早期対応、職場復帰における支援までの総合的な取組の実施
- g 「自殺予防週間」（9月10日～9月16日）等をとらえた職場におけるメンタルヘルス対策への積極的な取組の実施
- h 産業保健総合支援センターにおけるメンタルヘルス対策に関する支援の活用

(ウ) 転倒・腰痛災害の予防に関する事項

- a 事業者による労働災害防止対策に積極的に取り組む旨の表明
- b 身体機能の低下等による労働災害の発生を考慮したリスクアセスメントの実施
- c 高年齢労働者が安全に働き続けることができるよう、「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」を踏まえ事業場の実情に応じた施設、設備、装置等の改善及び体力の低下等の高年齢労働者の特性を考慮した、作業内容等の見直し
- d 労働安全衛生法に基づく雇入時及び定期の健康診断の確実な実施と、労働者の気付きを促すための体力チェックの活用
- e 若年期からの身体機能の維持向上のための取組の実施
- f 小売業及び介護施設の企業等関係者による「協議会」を通じた転倒・腰痛災害等の予防活動の機運の醸成・企業における取組の推進

- g ストレッチを中心とした転倒・腰痛予防体操（例：いきいき健康体操）の実施
 - h 「職場における腰痛予防対策指針」に基づく腰痛の予防対策の推進
 - (a) リスクアセスメント及びリスク低減対策の実施
 - (b) 作業標準の策定及び腰痛予防に関する労働衛生教育（雇入れ時教育を含む。）の実施
 - (c) 介護・看護作業における身体の負担軽減のための介護技術（ノーリフトケア）や介護機器等の導入の促進
 - (d) 陸上貨物運送事業における自動化や省力化による人への負担の軽減
- (エ) 化学物質による健康障害防止対策に関する事項
- a 中小規模事業場を中心とした特定化学物質障害予防規則等の特別規則の遵守の徹底（非製造業業種を含む。）、金属アーク溶接等作業における健康障害防止対策の推進
 - b 製造者・流通業者が化学物質を含む製剤等を出荷する際及びユーザーが購入した際のラベル表示・安全データシート（SDS）交付の状況の確認
 - c SDSにより把握した危険有害性に基づくリスクアセスメントの実施とその結果に基づくばく露濃度の低減や適切な保護具の使用等のリスク低減対策の推進
 - d ラベルや SDS の内容やリスクアセスメントの結果について労働者に対して行う教育の推進
 - e 危険有害性等が判明していない化学物質を安易に用いないこと、また、危険有害性等が不明であることは当該化学物質が安全又は無害であることを意味するものではないことを踏まえた取扱い物質の選定、ばく露低減措置及び労働者に対する教育の推進
 - f 皮膚接触や眼への飛散による薬傷等や化学物質の皮膚からの吸収等を防ぐための適切な保護具や汚染時の洗浄を含む化学物質の取り扱い上の注意事項の確認
 - g 特殊健康診断等による健康管理の徹底
 - h 塗料の剥離作業における健康障害防止対策の徹底
- (オ) 石綿による健康障害防止対策に関する事項
- a 建築物等の解体・改修工事における石綿ばく露防止対策の徹底及びこれらの対策の実施に対する発注者による配慮の推進
 - (a) 有資格者による事前調査の実施、事前調査結果の掲示及び備え付けの徹底
 - (b) 労働基準監督署に対する届出の徹底
 - (c) 隔離・湿潤化の徹底
 - (d) 呼吸用保護具等の使用の徹底及び適正な使用の推進
 - (e) 作業後等の労働者の洗身や工具等の付着物の除去の徹底
 - (f) 石綿作業主任者の選任及び職務遂行の徹底

- (g) 健康診断の実施の徹底及び離職後の健康管理の推進
- (h) 作業実施状況の写真等による記録の徹底
- b 吹付け石綿等が損傷、劣化し、労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における吹付け石綿、石綿含有保温材等の除去、封じ込め等の徹底（貸与建築物等の場合において貸与者等に措置の実施を確認し、又は求めることを含む。）
 - (a) 労働者が就業する建築物における石綿含有建材の使用状況の把握
 - (b) 封じ込め、囲い込みがなされていない吹付け材、保温材等の石綿使用の有無の調査
 - (c) 建材の損傷劣化状況に関する必要な頻度の点検の実施
 - (d) 建材の劣化状況等を踏まえた必要な除去等の実施
 - (e) 設備の点検、補修等の作業を外注する場合における、吹付け石綿や石綿含有保温材等の有無及びその損傷・劣化等の状況に関する当該設備業者等への情報提供の実施
- c 石綿にばく露するおそれがある建築物等において労働者を設備の点検、補修等の作業等に臨時で就業させる場合の労働者の石綿ばく露防止
 - (a) 労働者を臨時に就業させる建築物等における吹付け石綿や石綿含有保温材等の有無及びその損傷・劣化等の状況に関する当該業務の発注者からの情報収集の実施
 - (b) 労働者が石綿にばく露するおそれがある場合（不明な場合を含む。）における労働者の呼吸用保護具等の使用の徹底
- d 禁止前から使用している石綿含有部品の交換・廃棄等を行う作業における労働者の石綿ばく露防止対策の徹底
 - (a) 工業製品等における石綿含有製品等の把握
 - (b) 石綿含有部品の交換・廃棄等を行う作業における呼吸用保護具等の使用等
- (カ) 「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」に基づく受動喫煙防止対策に関する事項
 - a 各事業場における現状把握と、それを踏まえ決定する実情に応じた適切な受動喫煙防止対策の実施
 - b 受動喫煙の健康への影響に関する理解を図るための教育啓発の実施
 - c 支援制度（専門家による技術的な相談支援、喫煙室の設置等に係る費用の助成）の活用
- (キ) 「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」に基づく治療と仕事の両立支援対策の推進に関する事項
 - a 事業者による基本方針等の表明と労働者への周知
 - b 研修等による両立支援に関する意識啓発
 - c 相談窓口等の明確化

- d 両立支援に活用できる休暇・勤務制度や社内体制の整備
 - e 両立支援コーディネーターの活用
 - f 産業保健総合支援センターによる支援の活用
- (ク)「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」に基づく熱中症予防対策の推進に関する事項
- a WBGT 値の実測と、測定値に基づく熱中症リスクの評価、作業時間の短縮や、暑熱順化不足者の把握を含めた作業前ミーティングでの注意喚起など、評価を踏まえた適切な熱中症予防対策の実施
 - b 自覚症状の有無にかかわらず水分・塩分の摂取
 - c 救急措置の事前の確認と実施
 - d 健康診断結果を踏まえた日常の健康管理や健康状態の確認
- (ケ)「テレワークの適切な導入及び実施の推進のためのガイドライン」に基づく労働者の作業環境、健康確保等の推進に関する事項
- a 「自宅等においてテレワークを行う際の作業環境を確認するためのチェックリスト【労働者用】」を活用した作業環境の確保及び改善
 - b 「テレワークを行う労働者の安全衛生を確保するためのチェックリスト【事業者用】」を活用した労働者の心身の健康確保
- (コ)小規模事業場における産業保健活動の充実に関する事項
- a 産業医、産業保健師等の活用による産業保健活動の充実
 - b ストレスチェックの実施、ストレスチェック結果の集団分析及びこれを活用した職場環境改善の取組の推進
 - c 一般健康診断結果に基づく事後措置の徹底
 - d 小規模事業場における産業保健総合支援センターの地域窓口の活用
 - e 中小企業における団体経由産業保健活動推進助成金の活用
- (サ)女性の健康課題に関する事項
- a 女性の健康課題に関する理解促進のための取組の実施
 - b 産業保健総合支援センターにおける事業者や人事労務担当者、産業保健スタッフ向けの女性の健康課題に関する専門的研修の受講
 - c 産業保健総合支援センターにおける女性の健康課題に関する相談窓口の活用
- イ 労働衛生3管理の推進等
- (ア)労働衛生管理体制の確立とリスクアセスメントを含む労働安全衛生マネジメントシステムの確立をはじめとした労働衛生管理活動の活性化に関する事項
- a 労働衛生管理活動に関する計画の作成及びその実施、評価、改善
 - b 総括安全衛生管理者、産業医、衛生管理者、衛生推進者等の労働衛生管理体制の整備・充実とその職務の明確化及び連携の強化

- c 衛生委員会の開催と必要な事項の調査審議
 - d 危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づく必要な措置の推進
 - e 現場管理者の職務権限の確立
 - f 労働衛生管理に関する規程の点検、整備、充実
- (イ) 作業環境管理の推進に関する事項
- a 有害物等を取り扱う事業場における作業環境測定の実施とその結果の周知及びその結果に基づく作業環境の改善
 - b 局所排気装置等の適正な設置、稼働、検査及び点検の実施の徹底
 - c 事務所や作業場における清潔保持
 - d 換気、採光、照度、便所等の状態の点検及び改善
- (ウ) 作業管理の推進に関する事項
- a 自動化、省力化等による作業負担の軽減の推進
 - b 作業管理のための各種作業指針の周知徹底
 - c 適切、有効な保護具等の選択、使用及び保守管理の徹底
- (エ) 「職場の健康診断実施強化月間」(9月1日～9月30日)を契機とした健康管理の推進に関する事項
- a 健康診断の適切な実施、異常所見者の業務内容に関する医師への適切な情報提供、医師からの意見聴取及び事後措置の徹底
 - b 一般健康診断結果に基づく必要な労働者に対する医師又は保健師による保健指導の実施
 - c 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療保険者が行う特定健診・保健指導との連携
 - d 健康保険法に基づく医療保険者が行う保健事業との連携
- (オ) 労働衛生教育の推進に関する事項
- a 雇入れ時教育、危険有害業務従事者に対する特別教育等の徹底
 - b 衛生管理者、作業主任者等労働衛生管理体制の中核となる者に対する能力向上教育の実施
- (カ) 「事業場における労働者の健康保持増進の指針」等に基づく心とからだの健康づくりの継続的かつ計画的な実施に関する事項
- (キ) 快適職場指針に基づく快適な職場環境の形成の推進に関する事項
- (ク) 「副業・兼業の促進に関するガイドライン」に基づく副業・兼業を行う労働者の健康確保対策の推進に関する事項
- ウ 作業の特性に応じた事項
- (ア) 粉じん障害防止対策の徹底に関する事項
- a 「粉じん障害防止総合対策推進強化月間」(9月1日～9月30日)を契機とし

た「第10次粉じん障害防止総合対策」に基づく取組の推進

- (a) 呼吸用保護具の適正な選択及び使用の徹底
- (b) ずい道等建設工事における粉じん障害防止対策
- (c) じん肺健康診断の着実な実施
- (d) 離職後の健康管理の推進
- (e) その他地域の実情に即した事項

b 改正粉じん障害防止規則に基づく取組の推進

(イ) 電離放射線障害防止対策の徹底に関する事項

(ウ) 「騒音障害防止のためのガイドライン」に基づく騒音障害防止対策の徹底に関する事項

- a 騒音健康診断の実施
- b 聴覚保護具の使用
- c 騒音障害防止対策の管理者の選任

(エ) 「振動障害総合対策要綱」に基づく振動障害防止対策の徹底に関する事項

(オ) 「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン」に基づく情報機器作業における労働衛生管理対策の推進に関する事項

(カ) 酸素欠乏症等の防止対策の推進に関する事項

- a 酸素欠乏危険場所における作業前の酸素及び硫化水素濃度の測定の徹底
- b 換気の実施、空気呼吸器等の使用等の徹底

(キ) 建設業、食料品製造業等における一酸化炭素中毒防止のための換気等に関する事項

エ 東日本大震災等に関連する労働衛生対策の推進

(ア) 東京電力福島第一原子力発電所における作業や除染作業等に従事する労働者の放射線障害防止対策の徹底に関する事項

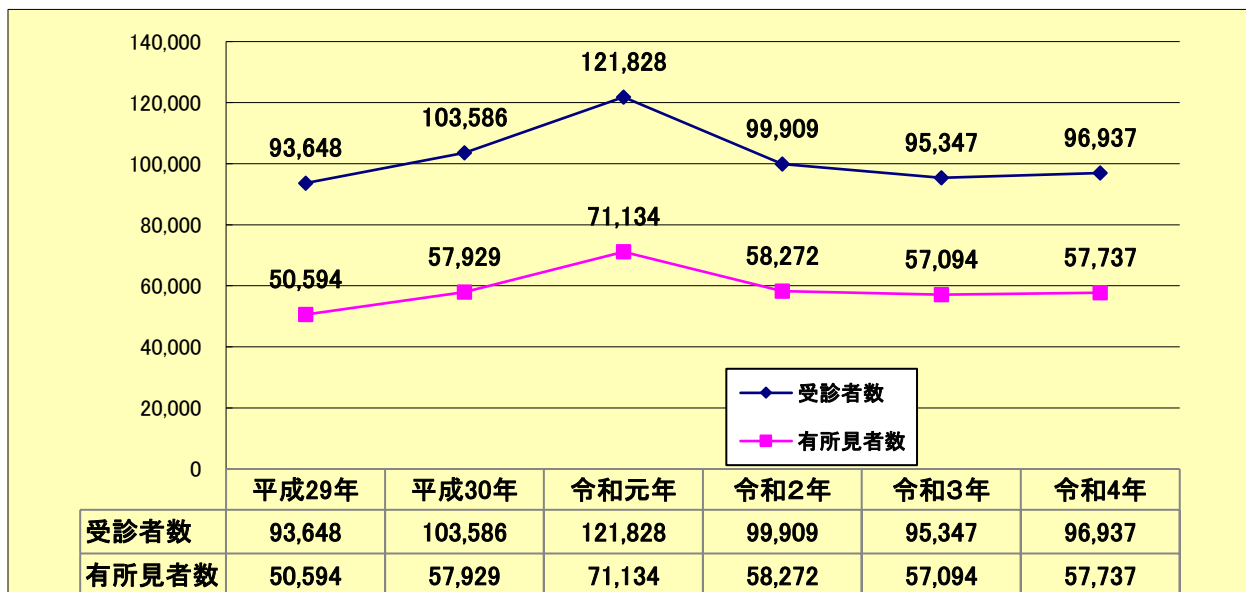
(イ) 「原子力施設における放射線業務及び緊急作業に係る安全衛生管理対策の強化について」(平成24年8月10日付け基発0810第1号)に基づく東京電力福島第一原子力発電所における事故の教訓を踏まえた対応の徹底に関する事項

オ 業務請負等他者に作業を行わせる場合の対策

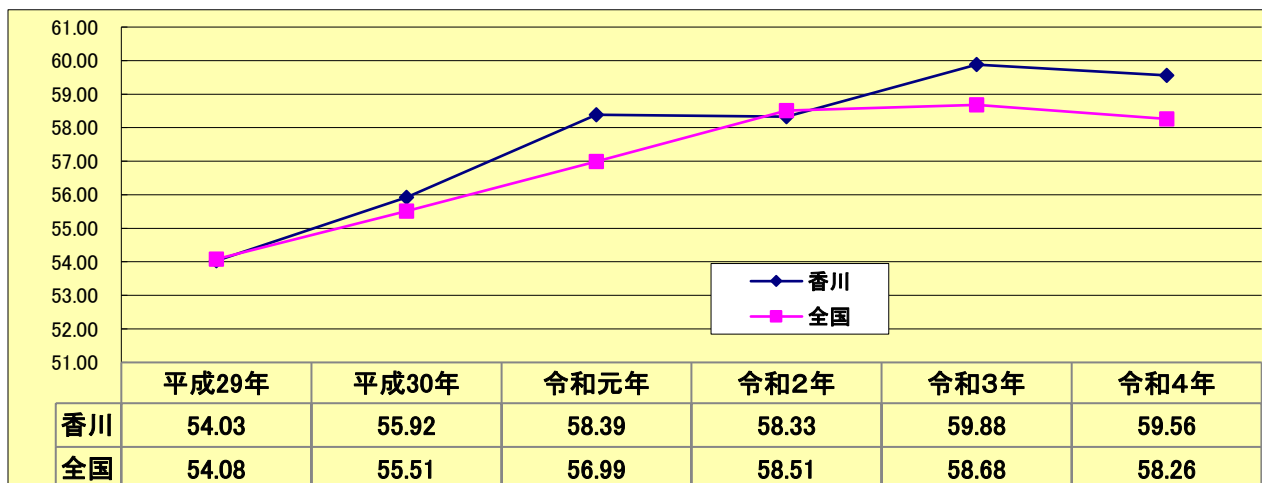
- a 安全衛生経費の確保等、請負人等が安全で衛生的な作業を遂行するための配慮
- b その他請負人等が安全衛生に係る事項を円滑に実施するための配慮

香川県内の労働者の健康を巡る状況

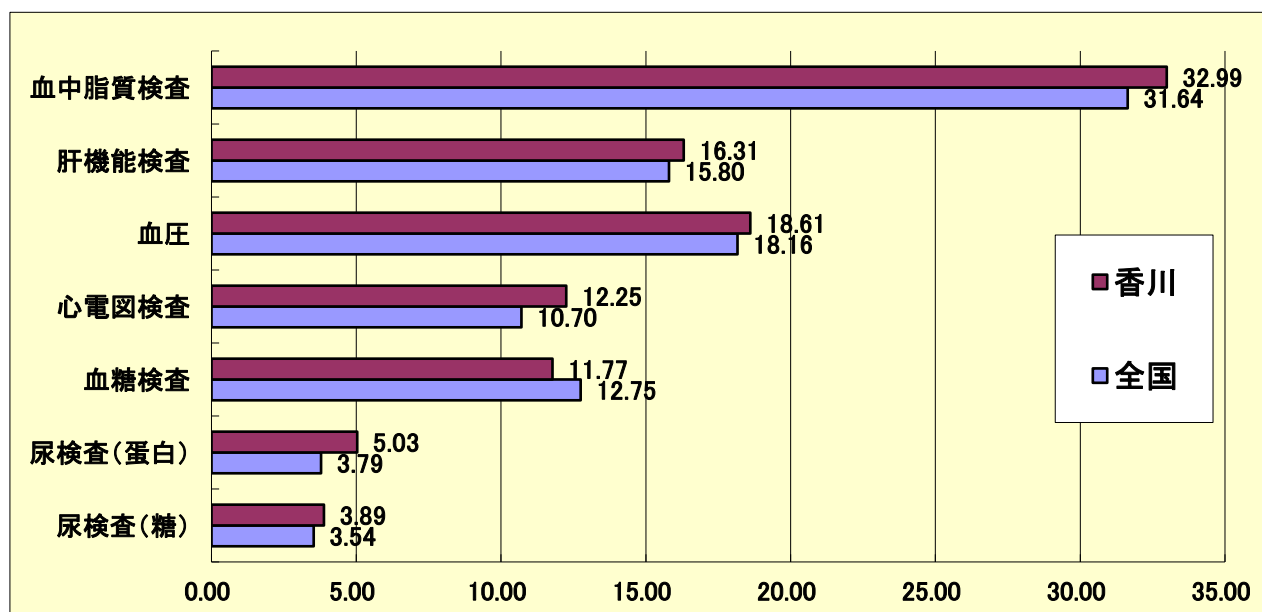
一般定期健康診断受診者数・有所見者数の推移(香川局管内) (定期健康診断結果報告書より)



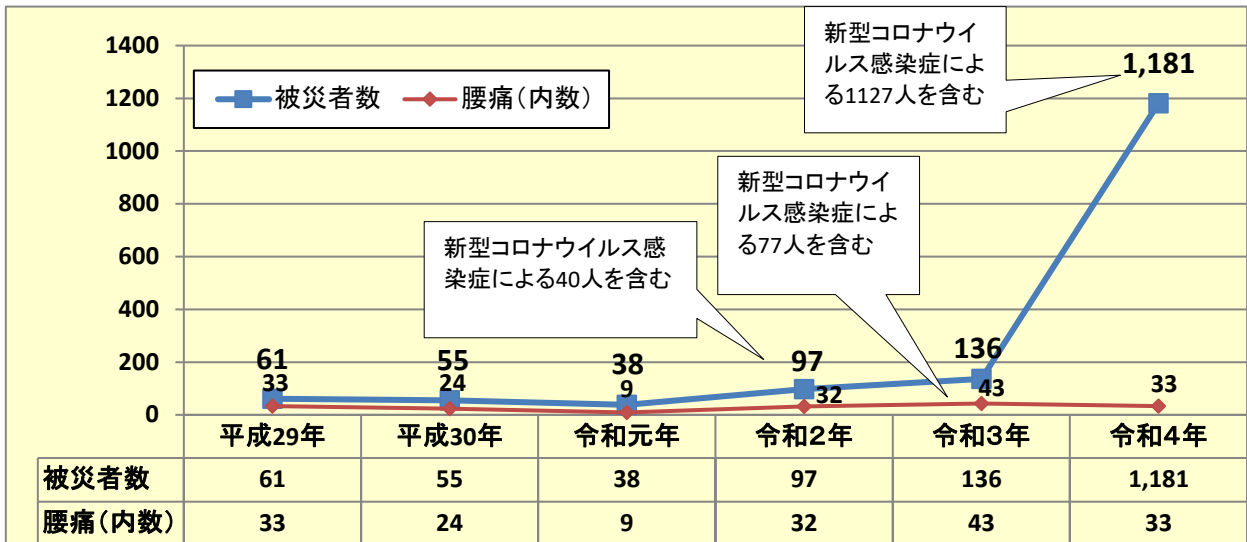
一般定期健康診断有所見率の推移 (%) (定期健康診断結果報告書より 全国の数値は速報値)



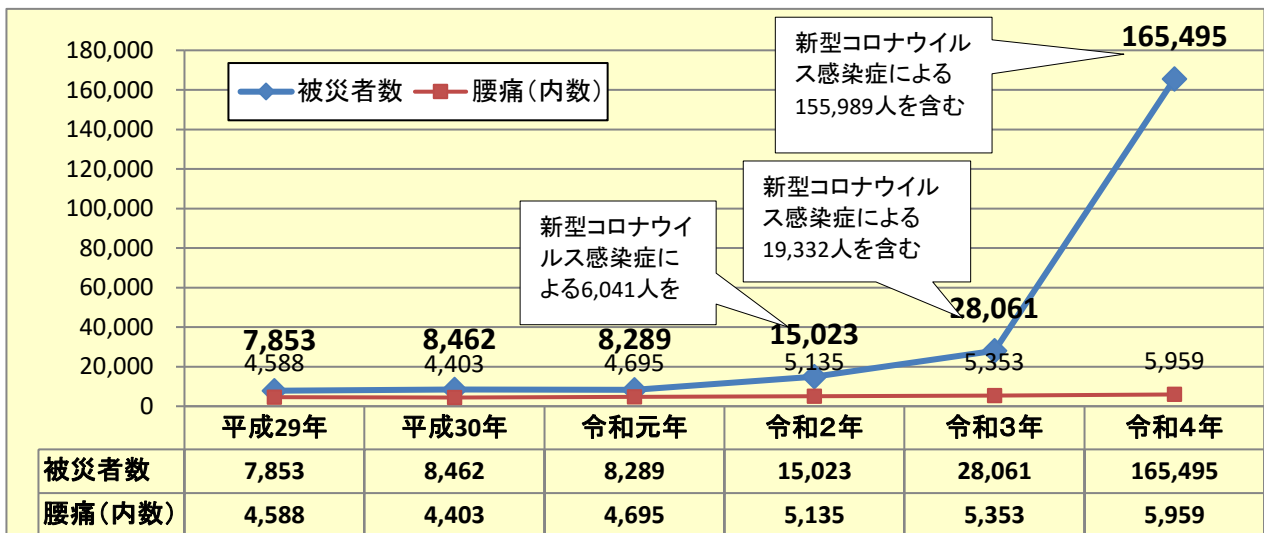
令和4年 主な一般定期健康診断項目別有所見率 (%) (定期健康診断結果報告書より 全国の数値は速報値)



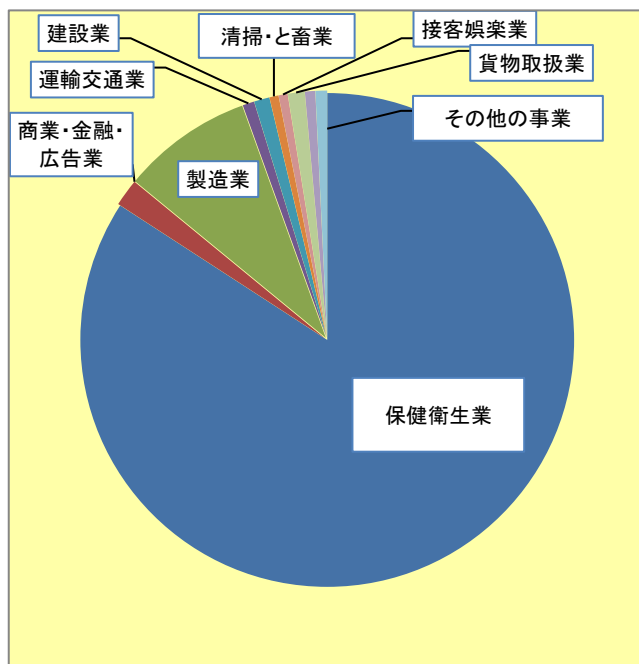
業務上疾病発生数の推移(香川局管内) (休業4日以上)



業務上疾病発生数の推移(全国) (休業4日以上)

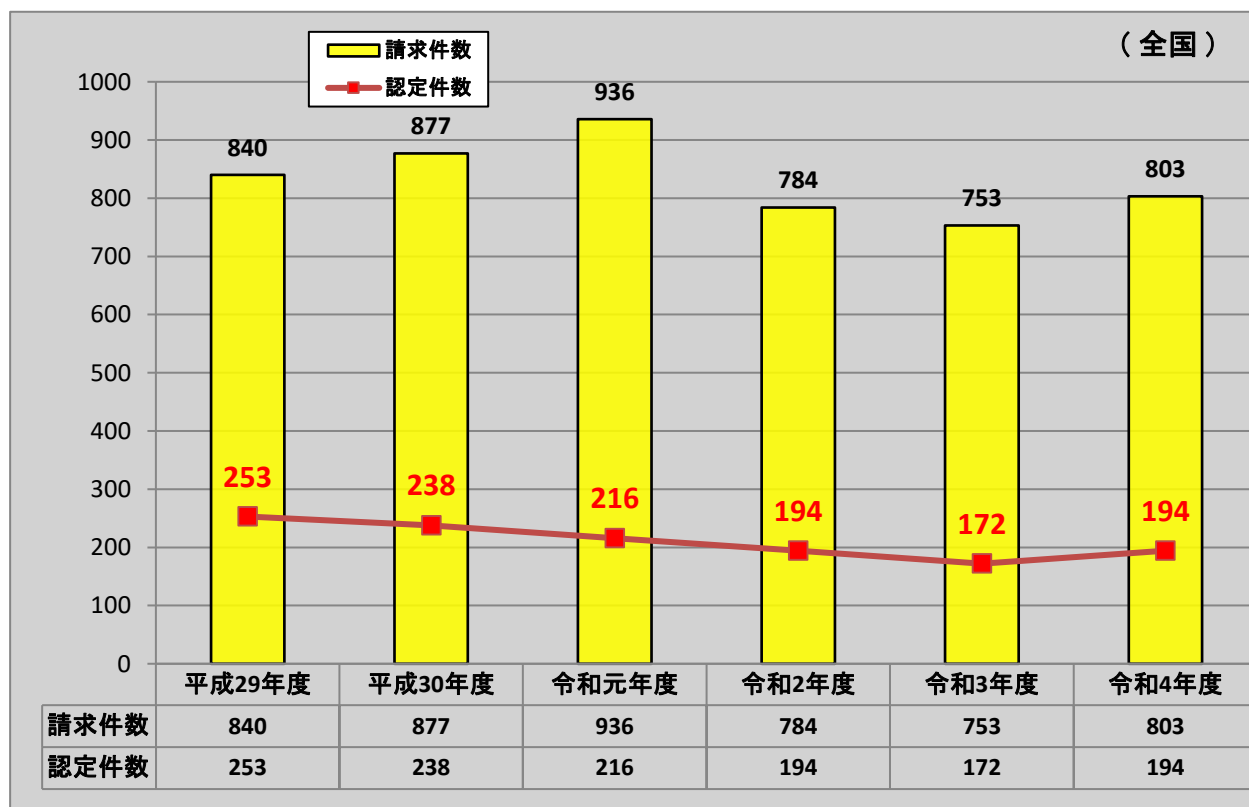
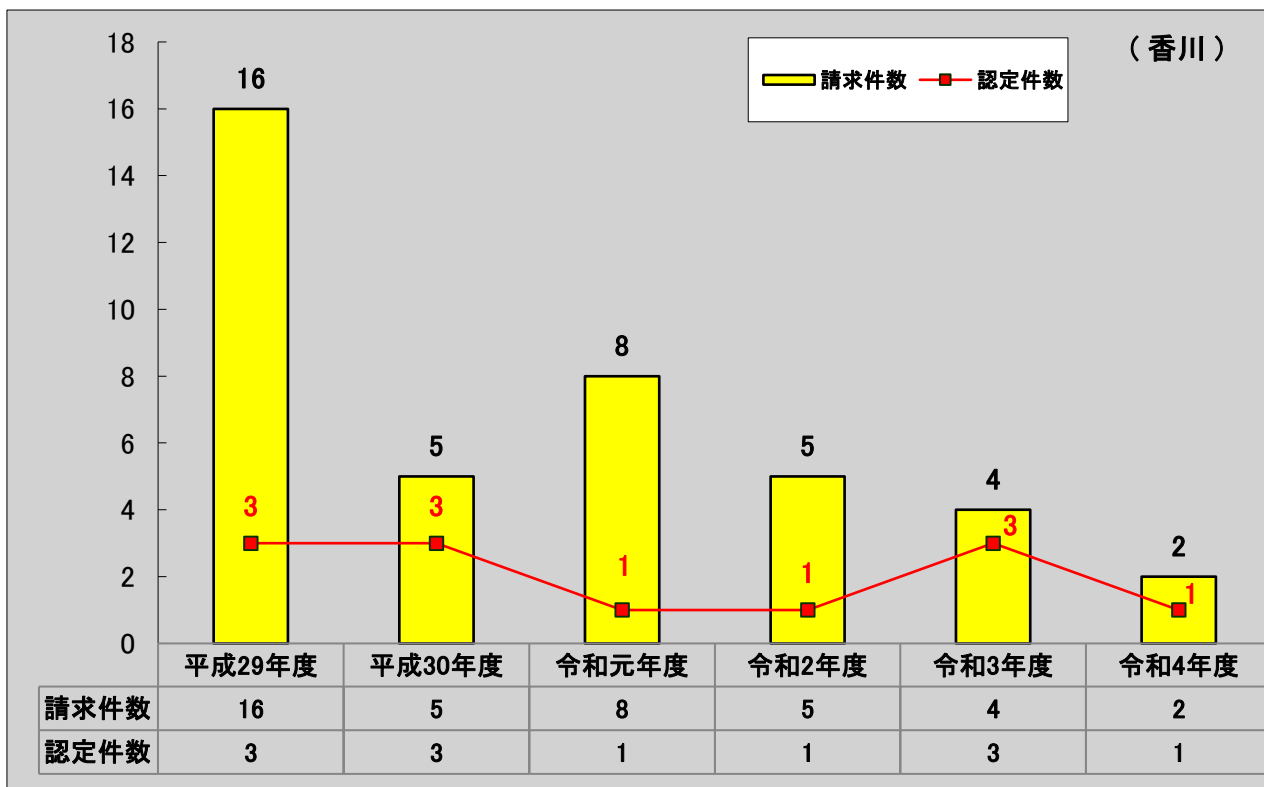


令和4年香川局 業種別業務上疾病発生数 (休業4日以上)

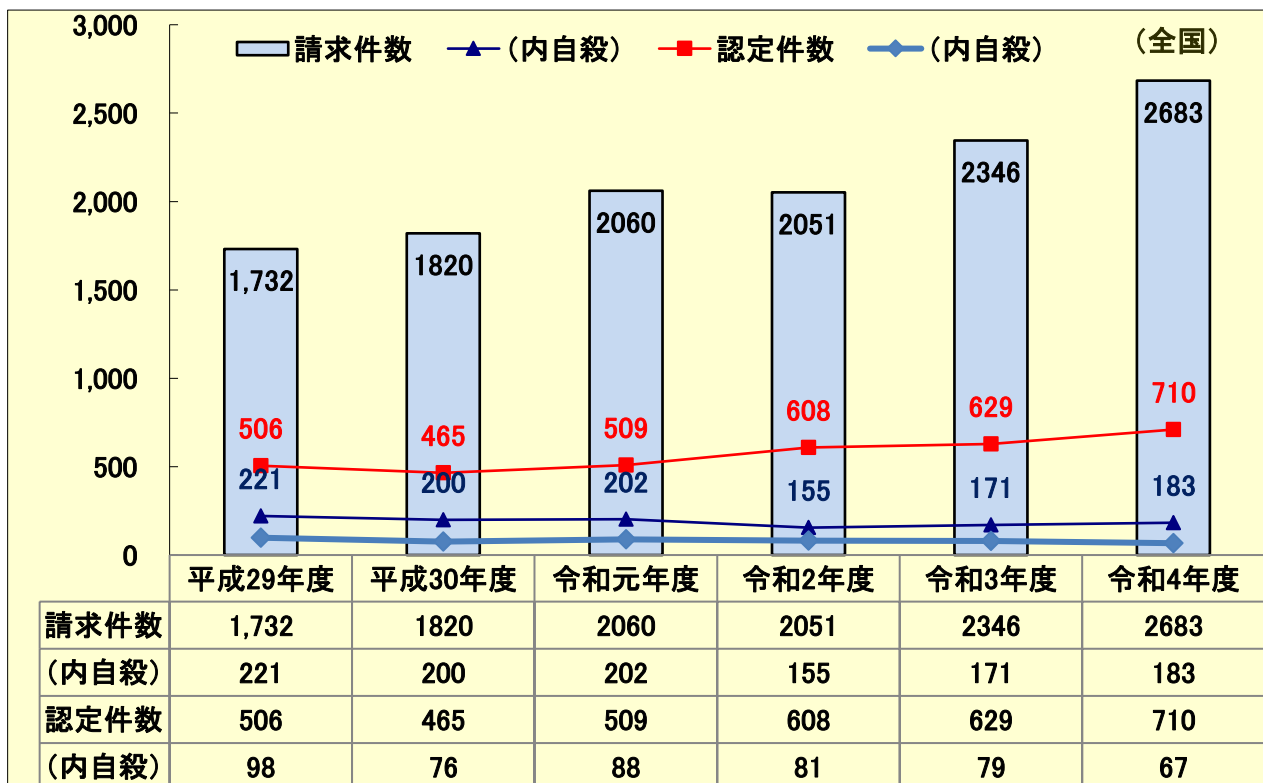
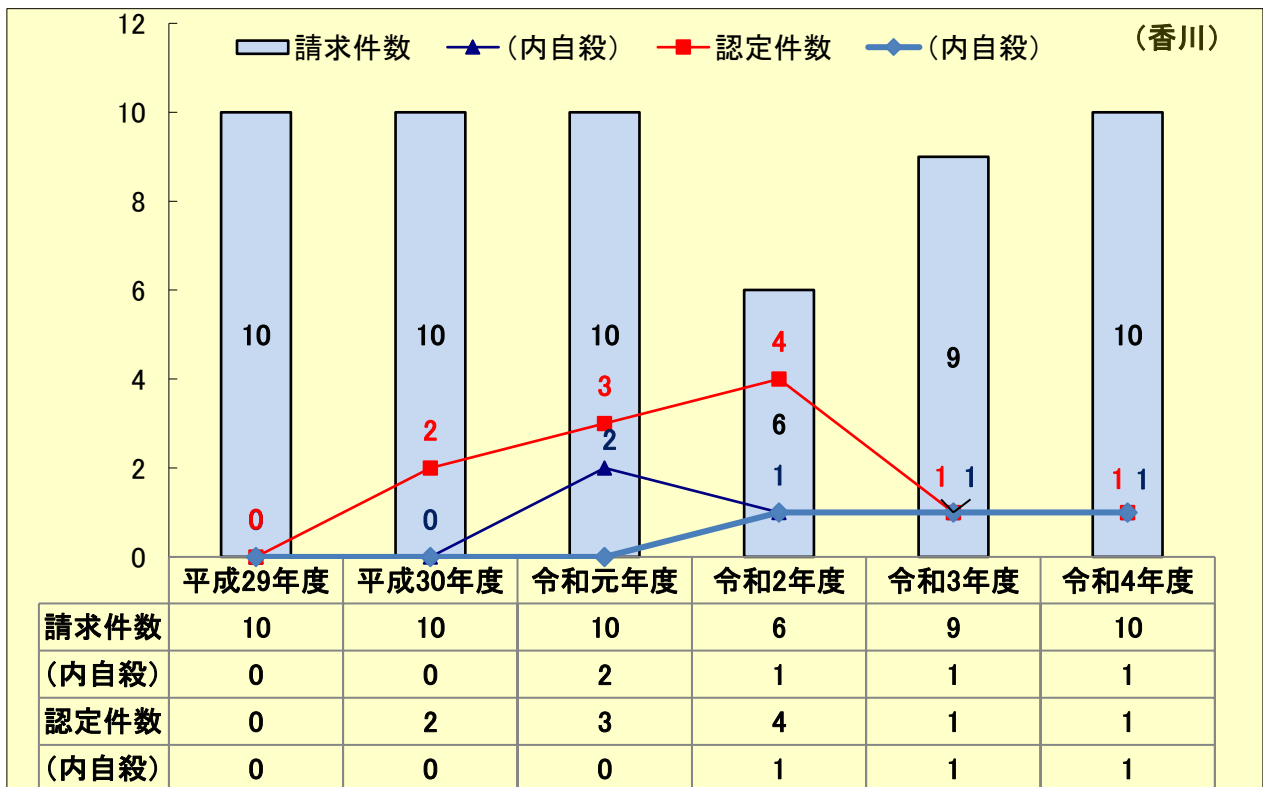


業種	件数	割合
保健衛生業	994	84.2%
商業・金融・広告業	21	1.8%
製造業	101	8.6%
運輸交通業	9	0.8%
建設業	12	1.0%
清掃・と畜業	7	0.6%
鉱業	0	0.0%
接客娯楽業	7	0.6%
貨物取扱業	13	1.1%
農林水産業	8	0.7%
その他の事業	9	0.8%
合計	1181	100.0%

脳血管疾患・虚血性心疾患の労災補償請求・認定数の推移



精神障害の労災補償請求・認定数の推移



第74回 全国労働衛生週間

2023（令和5）年10月1日(日)～7日(土) [準備期間：9月1日～30日]

全国労働衛生週間スローガン

目指そうよ二刀流 こころとからだの健康職場

誰もが安心して健康に働ける職場づくりへのご協力をお願いします！

「全国労働衛生週間」は、労働者の健康管理や職場環境の改善など『労働衛生』に関する国民の意識を高め、職場の自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的として毎年実施しています。

準備期間（9月1日～30日）に実施する事項

重点事項をはじめとして、日常の労働衛生活動の総点検を行いましょ

- 過重労働による健康障害防止対策
- 職場におけるメンタルヘルス対策
- 職場における転倒・腰痛災害の予防対策
- 化学物質による健康障害防止対策
- 石綿による健康障害防止対策
- 職場の受動喫煙防止対策
- 治療と仕事の両立支援対策
- 職場の熱中症予防対策の推進
- テレワークでの労働者の作業環境、健康確保
- 小規模事業場における産業保健活動の充実
- 女性の健康課題への取組

全国労働衛生週間（10月1日～7日）に実施する事項

- 事業者または総括安全衛生管理者による職場巡視
- 労働衛生旗の掲揚およびスローガンなどの掲示
- 労働衛生に関する優良職場、功績者などの表彰
- 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症などによる事故など緊急時の災害を想定した実地訓練などの実施
- 労働衛生に関する講習会・見学会などの開催、作文・写真・標語などの掲示
- その他労働衛生の意識高揚のための行事などの実施

主 唱 厚生労働省、中央労働災害防止協会

協 賛 建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会



ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

都道府県労働局・労働基準監督署

取り組みには、以下の情報や支援をご活用ください。

産業保健活動総合支援

産業保健総合支援センターは、産業保健活動を支援するため、企業への訪問指導や相談対応、研修などを実施しています。

地域産業保健センター（地産保）では、小規模事業場を対象に、医師による健康相談などを実施しています。

また、事業主団体等を通じて、中小企業等の産業保健活動の支援を行う「団体経由産業保健活動推進助成金」による支援も実施しています。

- 産業保健総合支援センター（さんぽセンター）

<https://www.johas.go.jp/shisetsu/tabid/578/Default.aspx>



- 団体経由産業保健活動推進助成金

<https://www.johas.go.jp/sangyouhoken/tabid/1251/Default.aspx>



メンタルヘルス対策

職場でのメンタルヘルス対策に関する法令・通達・マニュアル、「ストレスチェック実施プログラム（無料）」を掲載しています。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei12/>



メール・電話・SNS相談窓口を設置し、メンタルヘルス対策の取組事例などを紹介しています。

- 働く人のメンタルヘルスポータルサイト「こころの耳」

<https://kokoro.mhlw.go.jp/>



治療と仕事の両立支援

治療と仕事の両立支援のガイドラインや企業の取組事例、シンポジウムなどの総合的な情報を紹介しています。

- 治療と仕事の両立支援ナビ

<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp>



化学物質管理

化学物質のラベル・SDSの作成、危険有害性に応じたリスクアセスメントを着実に実施するための情報を提供しています。

- 職場のあんぜんサイト

http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/kagaku_index.html



転倒・腰痛予防対策

「いきいき健康体操」（監修：松平浩）

- 動画

<https://www.mhlw.go.jp/content/000895038.mp4>



- 解説書

<https://www.mhlw.go.jp/content/kaiset.pdf>



SAFEコンソーシアム

「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」
※ に加盟し安全衛生の取り組みを社内外にPRしましょう！



※ 増加傾向にある転倒・腰痛などの労働災害について、顧客や消費者も含めたステークホルダー全員で解決を図る活動体です。趣旨に賛同した企業、団体でコンソーシアムを構成し、労働災害問題の協議や、加盟者間の取り組みの共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟メンバーの認知度向上などをサポートします。

- SAFEコンソーシアムポータルサイトはこちら（サイト内から加盟申請もできます）

<https://safeconsortium.mhlw.go.jp/>



高齢労働者の健康づくり

高齢者が安心して安全に働ける職場環境の実現に向けた取り組みを進めましょう。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/newpage_00007.html



働き方改革

時間外労働の削減や年次有給休暇取得促進など働き方改革の推進に役立つ情報を紹介しています。

- 働き方の現状が把握できる「自己診断」等（働き方・休み方改善ポータルサイト）

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/>



- 各種助成金や無料相談窓口の紹介等（働き方改革特設サイト）

<https://hatarakikatakaikaku.mhlw.go.jp/top>



労働安全衛生調査

事業所が行っている安全衛生管理や、そこで働く労働者の不安やストレスなど心身の健康状態についての調査結果を公表しています。

安全衛生管理の参考資料として活用するとともに、調査対象となった際のご協力をお願いします。

https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/list46-50_an-ji.html



その他

- 職場における熱中症予防情報

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>



- 職場における受動喫煙防止対策

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/kitsuen/index.html



- 労働基準監督署等への届出は電子申請が便利です！

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000184033.html>



令和5年度全国労働衛生週間説明会 開催日程表

署別	開催日	開始時刻	会場名称 会場所在地	特別講演 講師・演題
高松	9月5日 (火)	13時30分	オリーブ記念館 コンベンションホール 小豆郡小豆島町西村甲 1941-1 小豆島オリーブ 公園内	Aii LABORATORY (エーアイアイラ ボラトリー) 代表 公認心理師・社会保険労務士 國村ひろこ氏 「ラインによるケア」～メンタルヘル ス対策の必要性の理解及びその実践～
	9月7日 (木)	14時00分	サンメッセ香川 2階大会議室 高松市林町 2217-1	医療法人社団以和貴会 いわき病院 医師 中村光夫氏 「若年性認知症の理解と就労支援」
	9月8日 (金)	14時30分	三菱マテリアル(株) 直島製錬所 香川郡直島町 4049-1	Aii LABORATORY (エーアイアイラ ボラトリー) 代表 公認心理師・社会保険労務士 國村ひろこ氏 「ラインによるケア」～メンタルヘル ス対策の必要性の理解及びその実践～
丸亀	9月13日 (水)	13時30分	オークラホテル丸亀 2階鳳凰の間 丸亀市富士見町 3丁目 3-50	香川産業保健総合支援センター 両立支援促進員 玉井 洋次氏 「治療と仕事の両立支援」～ながらワ ークについて考えてみませんか～
坂出	9月6日 (水)	13時30分	四国交通共済会館 3階大ホール 坂出市番の州公園 6-6	香川産業保健総合支援センター 両立支援促進員 玉井 洋次氏 「治療と仕事の両立支援」～ながらワ ークについて考えてみませんか～
観音寺	9月6日 (水)	13時30分	三豊市市民交流センター 三豊市豊中町本山甲 160-1	香川産業保健総合支援センター 労働衛生専門職(両立支援担当) 赤瀬 香絵氏 「治療と仕事の両立支援」～ながらワ ークについて考えてみませんか～
東かがわ	9月7日 (木)	13時30分	東かがわ市交流プラザ 東かがわ市湊 1806-2	静岡大学 教授 鈴江 毅氏 「働きやすい職場づくりのために会社 ができること」～メンタルヘルスへの 対応と健康管理における注意点～

主催 香川労働局／独立行政法人労働者健康安全機構 香川産業保健総合支援センター
 一般社団法人 香川労働基準協会／公益社団法人 全国労働基準関係団体連合会 香川県支部
 後援 一般社団法人 香川県医師会

2023
10/5
(木)

香川健康づくり 推進セミナー

参加無料

開会 10:00
閉会 16:00



お申し込みは、裏面を
FAXまたはこちらから



会場

サンメッセ香川 高松市林町2217-1
2階 大会議室・**中会議室**・**小会議室**

第74回全国労働衛生週間が『目指そうよ二刀流 ころとからだの健康職場』をスローガンに10月1日～7日までの間、展開されます。

香川労働局では、関係機関との共催により、『香川健康づくり推進セミナー』を毎年開催しています。令和5年度は香川県内で健康づくりの活動・啓発等を行う多数の機関の協力を得て、各種展示、体験、相談等を行うコーナーを設け、皆様にとって有益な情報を発信します。県内事業主の方をはじめ、衛生管理者、人事労務担当者の方など、多数の参加をお待ちしています。

参加を希望される方は、**香川産業保健総合支援センターのホームページ内**にある「**セミナー申込フォーム**」から、または、**裏面の参加申込書**に必要事項をご記入の上、**参加申込書（裏面のみ）をFAX**（送信先：香川産業保健総合支援センター）によりお申込みください。

セミナー（10:00～16:00）

体験・展示コーナー（10:00～14:30）

* 大会議室

〈午前の部〉**行政機関（担当者）が登壇**

10:00 **開会挨拶** 香川労働局労働基準部長

10:05 **香川労働局**（20分）

第14次労働災害防止計画等

10:30 **四国経済産業局**（30分）

「健康経営の推進と企業価値の向上について」

11:10 **香川県 健康福祉部**（30分）「従業員の健康づくり」



〈昼休憩〉



お願い
ゴミは各自
お持ち帰り
ください

〈午後の部〉

13:00 **【講演】受動喫煙防止対策**（30分）

労働安全コンサルタント／衛生工学衛生管理者 進藤 晃 氏

13:40 **【事例発表】健康づくりの取組み**（40分）

協同食品株式会社（坂出市）

管理部 部長 三谷 友哉 氏

（インタビューアー 香川労働基準協会専務理事 石井芳徳 氏）

14:20 **【リフレッシュタイム】簡単体操**（香川県理学療法士会）

14:50 **【特別講演】「メンタルヘルス不調に対する誤解、偏見を再考する」**（60分）

古新町こころの診療所 院長 嶋 宏美 先生

* 中会議室

【香川産業保健総合支援センター】

・健康保持増進対策（体組成計・握力計・血圧計・脂肪モデル等の展示や体験・相談等）

【香川県理学療法士会】

・ロコモ度チェック他



* 小会議室

【香川県】

・事業所まるごと健康宣言優良取組事業所の紹介
 ・健康づくり事業紹介
 （香川健康ポイント事業/出前講座/メンタルヘルス）
 ・「マイチャレかがわ！」紹介・登録コーナー

骨密度測定（無料）
【香川県栄養士会】

歯周病検査（無料）
【協会けんぽ】



* 屋外駐車場

健診車【ジュピター号】
のご案内※内覧可

【公益財団法人香川県総合健診協会】



協力機関：経済産業省四国経済産業局 香川県健康福祉部 全国健康保険協会（協会けんぽ）香川支部
 公益社団法人 香川県栄養士会 一般社団法人 香川県理学療法士会 公益財団法人 香川県総合健診協会ほか

【問合せ先】 香川産業保健総合支援センター TEL 087-813-1316

下記の必要事項をご記入のうえ、

FAX 087-813-1317へ送信してください。



かがわさんぽ

※産保センターのホームページ（スマホ対応）「セミナー申込フォーム」からもお申込みできます。

【参加申込】令和5年度 香川健康づくり推進セミナー

【日 時】令和5年10月5日（木） 開会 10:00
閉会 16:00

【会 場】サンメッセ香川 2階（高松市林町2217-1）

【事前アンケート】参加を考えている講演・コーナーに チェックをお願いします。

大会議室

- 10:00 香川労働局 説明
- 10:30 四国経済産業局 説明
- 11:10 香川県 健康福祉部 説明
- 13:00 【講演】受動喫煙防止対策
- 13:40 【事例発表】健康づくりの取り組み
- 14:50 【特別講演】

「メンタルヘルス不調に対する誤解、偏見を再考する」

小・中会議室【10:00～14:30】

- 健康保持増進対策（香川産保センター他）
- 骨密度測定（香川県栄養士会）
- 歯周病検査（協会けんぽ）

屋外駐車場

- ジュピター号内覧（香川県総合健診協会）

※この申込書で参加希望のチェックを入れていないものへの当日参加も可能ですが、参加を希望するコーナーにはできるだけチェックを入れていただきますようお願いいたします。

※骨密度測定をご希望の方は、裸足になれる格好でお越しください。

※体験コーナーは希望者が多い場合、全員に提供できない場合がございますので、ご了承ください。

※どの時間からご参加いただいても結構ですが、体験コーナーは込み合うことも予想されます。時間に余裕をもってお越しください。

※会場内は飲食が可能です。11：40～12：50までの時間帯は大会議室で昼食をお取りいただいて結構です。ごみは各自でお持ち帰りいただきますようお願いいたします。

事業場名			
業種	1.製造 2.建設 3.運送 4.電気・ガス・水道 5.情報通信 6.卸・小売 7.金融 8.不動産 9.飲食店・宿泊 10.医療・福祉 11.教育・学習支援 12.サービス（その他） 13.その他		
労働者数（概数）			
所在地	（〒 - ）		
参加者連絡先（代表）	電話	FAX	
(ふりがな) 参加者1		職種	※○をつけてください。 事業主・衛生管理者・産業看護職 人事労務担当者・労働者 その他（ ）
(ふりがな) 参加者2		職種	※○をつけてください。 事業主・衛生管理者・産業看護職 人事労務担当者・労働者 その他（ ）

※3名以上参加される場合は、本申し込み用紙をコピーして使用してください。

【問合せ先】 香川産業保健総合支援センター TEL 087-813-1316

定期監督等における労働衛生関係法令の違反状況
(令和4年 香川労働局)

監督指導実施事業場数	合計	主な業種					
		製造業	建設業	交通運輸業	商業	保健衛生業	接客娯楽業
監督指導	1687	536	385	62	285	149	118

違反事業場数		合計	主な業種						
主な違反			製造業	建設業	交通運輸業	商業	保健衛生業	接客娯楽業	
労働安全衛生法	衛生基準（第20条～25条）	84	73	7		2			
	主な内訳	うち特定化学物質障害予防規則	56	53	2		1		
		うち有機溶剤中毒予防規則	29	29					
		うち粉じん障害防止規則	28	23	5				
	作業環境測定（第65条）	22	21						
	健康診断（第66条）	129	52	6	4	28	14	20	
	主な内訳	うち労働安全衛生規則	98	23	4	4	28	14	20
		うち特定化学物質障害予防規則	29	27	2				
		うち有機溶剤中毒予防規則	8	8					
	健康診断結果に係る医師等からの意見聴取（第66条の4）	252	94	21	10	39	45	10	
労働時間状況の把握（第66条の8の3）	67	11	14	1	17	3	10		
じん肺法	定期健診（第8条）	10	8	2					

※1 「主な内訳」は、すべての内訳を網羅したものではなく、また、違反事項が2つ以上ある場合は、各々に計上している（内数の合計は上位区分の総数は一致するとは限らない）。

※2 「主な業種」は、すべての業種を網羅したものではないため、各業種の合計値は「合計」欄の数に達するとは限らない。

※3 令和4年1月から12月までに香川労働局管下の各労働基準監督署による監督指導結果